

～メキシコ留学日記2月号～

見山達哉

早いものでメキシコへ来て、約半年経ちました。この貴重な留学期間を実りあるものにするために、残りの期間、メキシコでしかできないことに果敢にチャレンジして行きたいと思います。

さて、今回のレポートではメキシコシティを代表する観光地でありながら、なかなか訪れることができなかった、Xochimilco（ソチミルコ）へ訪れたのでその魅了についてご紹介したいと思います。

Xochimilco

メキシコ・シティといえば、現在は都市圏人口が2000万人を超える世界有数の大都市ですが、かつてはメキシコシティー帯が巨大な湖でした。13世紀末にこの地にやってきたアステカ人によって干拓されたことによってメキシコシティの原型ができたのです。Xochimilco（ソチミルコ）は現在メキシコシティで唯一、アステカ時代湖上都市であった面影を感じられる場所となっています。

アクセスも良く、地下鉄に乗り、Metro Tasqueña（タスケーニャ駅）まで行き、そこから路面電車に乗り終点ソチミルコ駅まで行きます。中心部から電車で約1時間程で行けるため週末には多くの観光客が押し寄せます。

Xochimilco（ソチミルコ）にはTrajinera（トラヒネラ）というカラフルな小舟が浮かんでおり、時間制でレンタルして運河を遊覧することができます。1艘1時間あたり500ペソ（日本円で約2900円）で運河を遊覧することができます。大人数で行けば安く済ませることができるため是非おすすめです。

私はCEPE（メキシコ国立自治大学付属の語学学校）の最初のセメスターの授業でXochimilco（ソチミルコ）の歴史に関する授業を受けたので、今までずっと行きたいと思っていたながらもなかなか行けずじまいでした。幸運にも、今回友人に誘われ遂に訪問することができました。

カラフルなTrajinera（トラヒネラ）が行き来する運河はとても美しかったです。また、遊覧中に行き来する舟からはどこからともなくマリアッチの歌声、メキシコ伝統のお菓子やお酒を売る人々の声が聞こえ、賑やかで、いかにもメキシコらしい風景が広がっていました。皆さんもメキシコシティへ来た際は是非訪れる事をおすすめします！！



(カラフルな Trajineras)



(ローカル感満載の Xochimilco の酒場)

近状報告

メキシコへ来て約半年経ったので、自分のスペイン語力の変化について少し述べたいと思います。

メキシコ渡航時の私のスペイン語力は、日常会話はできるものの、深い話ができないというレベルでした。メキシコ人の友人とおしゃべりをする際に、早口で喋られた時は何を言っているのかを再度説明してもらっても理解できず、苦笑いで済みます、もしくは英語に頼るという状態が多々ありました。

現在、メキシコ人の友人と話す際は、時々理解できないことがあっても、再度説明してもらえば、スムーズに会話ができるようになりました。

しかし、今学期からメキシコ国立自治大学の政治社会学部で国際政治経済の授業を取り始めましたが、クラスに外国人は私1人という状況で、授業はネイティブスピードで進むため、内容の6割ほどしか理解できず悔しい日々が続いています。また、メキシコ人の友人のグループと遊びに行く際は、友人同士の話の流れについて行けず、まだまだ苦笑いせざる得ない状況が多々あります。

良くも悪くも CEPE (メキシコ国立自治大学附属語学学校) は外国人コミュニティです。授業では、先生が丁寧に綺麗なスペイン語を喋り、授業外では外国人同士で、習った綺麗なスペイン語をゆっくりと話し合います。

もちろんそれも素晴らしいことですが、やはり、スペイン語をさらに伸ばすためには積極的にネイティブだけの状況に身を置くことが重要だと感じています。残り半年間、メキシコ人だけの環境に積極的に身を置き、メキシコ留学をさらに実りあるものにしていきたいと思っています。

今回のレポートはここまでとなります。それではまた、¡Hasta luego!